



ポストの前でみんなで記念にパチリ【撮影:小野寺幸子】

時代を越えて新たな活用

森子自治会ポスト除幕式

森子自治会(畠山正人会長)が、6月29日、旧松尾郵便局跡地に憩いの場を造り、その象徴として、同局で使用していたポストの除幕式を行いました。

当日は、きれいに塗り直されたポストを、地域の皆さんに披露。畠山会長は「地区のシンボルとして保存し、コミュニケーションの場として活用していきたい」とあいさつしました。また、松野保育所(畠山礼子園長、園児62人)の園児19人は、整備された花壇に地域の方と一緒にひまわりの種を植えました。



HANA花フェスタでの「あしろ手しごと展」也大盛況

話題

ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。
☎・内線 1213 まで。

焼走りで音楽を通じ交流

焼走り熔岩流まつり

焼走り熔岩流まつりが、7月16日、岩手山焼走り国際交流村で開かれました。

同祭りでは、大更小(内田孝次校長、児童360人) brassバンド部と野田村の野田小(小原正弘校長、児童181人)合奏団による演奏会が開かれました。野田小合奏団の演奏に合わせて、大更小brassバンド部が合唱すると、会場からは大きな拍手が送られました。子どもたちは、演奏会終了後、バーベキューやメッセージカードの交換などを通じ、交流を深めました。



野田小合奏団の演奏に合わせて合唱する大更小の子どもたち

鮮やかな花々がお出迎え

あしろHANA花フェスタ 2012

あしろHANA花フェスタ2012(同実行委員会主催)が、6月29日から7月1日までの3日間、安代地区で開催されました。

4カ所で公開されたオープンガーデンでは、見学者が庭園を開放している人と花を通して交流しました。また、荒屋新町商店街は、地域の人々が作ったハンギングバスケットで飾られ、訪れた人の目を引いたほか、盛岡発着のバスツアーも人気で、市外からの来場者が花の空間を満喫していました。



佐藤テツさん(向久保)のオープンガーデンは花でいっぱい

各代表操法の腕競い合う

県消防協会岩手地区支部消防操法競技会

県消防協会岩手地区支部消防操法競技会(同支部主催)が、7月15日、松尾総合運動公園で行われました。

当日は、岩手地区の各市町村から代表して選ばれた消防団員約110人が競技に参加。ポンプ車と小型ポンプの部それぞれで、日頃の消防技術の訓練の成果を発揮しました。惜しくも市消防団は入賞を逃しましたが、市を代表して競技に臨む姿に関係者から多くの拍手が送られていました。(結果=ポンプ車、小型ポンプ車ともに葛巻町の分団が優勝)



関係者からの期待を一身に受け競技に臨みました

本来ある姿を守るために

八幡平外来植物駆除キャンペーン

八幡平外来植物駆除キャンペーンが、7月6日、八幡平の見返り峠付近で行われました。

同キャンペーンには、当市や鹿角市から関係者を含め約310人が参加。アスピーテラインや樹海ライン沿いのセイヨウタンポポやオオハンゴンソウなどの外来植物の駆除に汗を流しました。全校生徒で参加した松尾中の安野木恭兵君(1年、畑)は「外来植物がたくさんあった。これからは、なくしていかなければいけないと思った」と語っていました。



自然と触れ合いながら植生について学びました

すなっぷギャラリー



社会を明るくする運動・街頭パレード(7月15日、大更地内)



肩もみは気持ちがいいね(7月3日、向村いきいきサロン)【撮影:小野寺幸子】



日頃からの警察への協力に対し感謝状(7月2日、岩手警察署)



西根ライオンズクラブが市内3校に図書を寄贈(6月26日、西根中体育館)



一足早くプールで泳ぎました(7月1日、B&G海洋センター無料開放)



多くの登山者が頂上を目指しました

安全を祈願し山頂目指す

岩手山山開き

岩手山(2,038m)の山開きが、7月1日、焼走りキャンプ場で行われました。当日は、神事が行われたあと、田村正彦市長から市旗とピッケルを手渡された登山隊が、頂上を目指しました。残念ながら、濃いガスと強風のため途中で登頂を断念しなければなりませんでしたが、登山道脇にはコマクサなどの高山植物の花が咲き誇っていて、本格的な夏山シーズンの到来を待ちわびていた登山者たちを喜ばせました。

自慢の物産品が勢ぞろい

第5回八幡平産直大集合

八幡平産直大集合（市産直連携協議会主催）が、7月7、8日の両日、さくら公園で開催されました。会場には、市内の産直施設のほか、宮古市や岩泉町の産直施設も集合し、自慢の物産品を販売。動物たちとの触れ合いコーナーやフリーマーケットなども開かれ、人気を集めていました。また、市内の小・中学校や高校の吹奏楽部による演奏や、不来方ベンチャーズによる演奏の披露もあり、会場に訪れた人は、音楽と初夏の味覚を楽しんでいました。



不来方ベンチャーズの演奏に聞き入る来場者



実際にランドセルなどを使い水に浮かぶ体験をしました

もしもの時に備えて訓練

平笠小着衣水泳教室

平笠小学校（小澤清治校長、児童39人）の児童が、7月18日、同校プールで着衣水泳教室を開きました。今年度で3回目となる同教室では、盛岡赤十字病院で救急救命士を務める徳田裕子さんを講師に招き、水に浮く訓練などを実施。救助隊が来るまでに少しでも長く浮いていることが大事と教わった子どもたちは、水中でのバランスの取り方などを学びました。千葉青君（3年、中平笠）は「ランドセルや靴が浮かぶことがよく分かった」と訓練の成果を感じていました。

活気あふれる地域の広場

大更ガーデンフェスティバル

大更ガーデンフェスティバル（同実行委員会主催）が、7月14日、大更フーガの広場で開催されました。今回で24回目を迎えた同フェスティバルでは、地元の小・中学校による吹奏楽の演奏をはじめ、フラダンスサークルの発表や学生のバンド演奏などが行われました。また、イベントの間には、梅干し種飛ばし大会や、第1回から続いているくつ飛ばし大会も開かれ、多くの挑戦者が、種やくつをより遠くへ飛ばそうと奮闘していました。



靴を飛ばす姿は全員の注目の的でした

園児のみやびな琴の音色

ひなぎく幼稚園七夕まつり

ひなぎく幼稚園（高橋アヤ園長、園児71人）で、7月7日、七夕まつりが開かれました。可愛らしい浴衣姿の年長組20人の園児は、2組に分かれて、大人用の琴で「さくら」の演奏と合唱を披露。会場に詰めかけた保護者からは、自然に笑みがこぼれていました。田村友佳ちゃん（松川）は「お母さんにも手伝ってもらって、家での練習も頑張った」と七夕まつりへの取り組みを語ってくれました。園児は、6月から週2回の稽古に励み、本番を迎えました。



小さな演奏家たちが上手に琴を弾きました

元気にマスをつかみ取り

七時雨温泉まつり

七時雨温泉まつり（合同会社七時雨主催）が、7月1日、西根老人憩の家で開催されました。同祭りでは、地元の伝統芸能の披露や輪投げ大会が開かれたほか、オカリナサークルによる「夏の思い出」などの演奏が行われ、会場を訪れた人は、普段あまり聞くことの無い音色に耳を傾けていました。また、マスのつかみ取りに多くの子どもたちが参加。魚を追いかける姿に、声援や笑い声が起り、袋に入りきれないほどマスを捕まえた子もいました。



狙いをつけてマスを追う姿は真剣そのもの

すなっぷギャラリー



西根第一クラブが県少年軟式野球大会でベスト8に(6月23・24日、山田町) [撮影:小野寺幸子]



国際交流姉妹校の生徒と一緒にそば打ち体験(6月27日、平笠高)



田頭小同窓会が後輩たちへデジタル機器を贈呈(7月12日、田頭小)



宙を舞う餅などをキャッチ(7月14日、長嶺神社例大祭・餅まき)



一輪車リレー。難しそうですね(7月8日、浅沢地区民大運動会)